

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	○身体拘束をしないケアの実践で、「緊急やむを得ない身体拘束に関する説明書」を作成し、必要なお家族に説明し、了解をいただいた。しかし、拘束の無いように解除に向けた検討会が行われていない。	身体拘束の解除に向けた検討会や学習会を行い、検討の記録等を作成し、拘束を必要としない介助につとめる。	ベッド柵の4点囲みをなくすことについて、夜間は落下防止のためつけておくが、日中は外して定期的に巡回し見守り、解除に向けて適宜検討していく。	6ヶ月
2	4	○運営推進会議は2か月に1回定期的に開催し、地域の役員や市役所の職員の参加もあり、グループホームの状況報告や地域からの要望、意見等活発に話し合いをし、会議の結果も毎回家族へ報告しているが、家族の参加が少ない現状にある。	今まで以上に運営推進会議の意義等を話していく中で、参加される家族を探していく。	運営推進会議への参加を呼び掛けたところ、2つの家族で参加の同意を得られた。さらに他の家族へも呼びかけて、家族代表に欠席がないようにしていく。	3ヶ月
3	35	火災を想定した通報避難訓練は年数回行っているが、水害を想定した避難訓練は毎年行っていない。	水害を想定した避難訓練を計画し、地域の関係機関と連携し実施する。	地域の中学校内の施設が災害避難所として最近整備されたので、中学校や市役所の担当者と連携して、訓練を実施する。	3ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。